



## 日本銀行、内閣府、帝国データバンクの調査結果

**景気の先行は持ち直しへの期待が見られる**

景気の基調が改善される一方、資源価格の高騰や円安傾向が重しになつて先行きの不透明感がぬぐえません。10月に公表された日本銀行内閣府などのデータを基に景気動向を取り上げてみます。



日本銀行が10月6日に公表した、地域経済報告の最新の『さくらレポート』によると、各地域の景気の総括判断を「供給制約の影響が和らぎ、感染抑制と経済活動の両立も進むもとで、多くの地域で『緩やかに持ち直している』としています。

直しつつある」（関東甲信越）、  
「弱い動きとなつてゐる」（東海  
・近畿、「持ち直してゐる」（九州  
・沖縄）と見て います。  
賃貸住宅関連の投資について  
主だった事例を見ると、「貸家  
の着工は、節税需要が底堅いも  
のの、金融機関の厳格な審査目  
線もあり、引き続き低位で推移  
している」（名古屋）、「相続税

『気ウォッチャー調査』（街角景気）によると、9月の現状判断DI（季節調整値）は、企業動向関連、雇用関連のDIが低下したもので、家計動向関連のDIが上昇したことから、前月を2・9ポイント上回る48・4で、2カ月連続の上昇となりました。

**今後の景気の見通しは  
様々な要因の行方による**

対策として貸家を建設して土地活用する動きは、引き続き堅調もつとも、資材価格高騰に伴う建設コストの増加を眺めて、投資タイミングを見極めようとする動きもみられている」(京都)などの声が関連する企業サイドから挙がっています。

賃貸経営安定のため、景況観が上向きつつあるこの機会に、足場を固める積極姿勢も求められます

2～3カ月先の景気の先行きに対する判断DIは、家計動向関連DIは上昇したものの、企業動向関連、雇用関連のDIが低下したことから前月を0・2ポイント下回っています。

賃貸住宅の毎月の新設は、1年半に及ぶ増加傾向が続いています。今年1～8月の合計では、前年比約7%の高い伸び率で、賃貸住宅の建設に民間資金とともに公的資金が増えたことが背景にあります。ただ、日本銀行が公表しているレポートを見ていると、貸家の着工にも地域性がある、決して一本調子というわけではなく、各地域特有の課題に直面しているようです。

「資材価格の高騰による建設費用の高まりから採算性が悪化しており、貸家の受注は減少している」(金沢)、「建築コスト上昇を受けた不動産投資

賃貸住宅の新設増が1年半に及ぶ  
半面、地域性が強い貸家の着工傾向

の期待利回り低下により、投資目的による貸家の着工は低調に推移している」  
（高知）といった声もあります  
ところで、携帯電話の電池が弱くなつて充電が十分にでききない場合、早めの機種変更をお勧めします。





タ付きインターホン」「2口コンロ以上」「24時間出せるゴミ置き場」「追い焚き機能付きの風呂」が続きます。

魅力を感じる賃貸住宅のコンセプトについては、「防災賃貸住宅」が1位となっています。2位が「デザイナーズ賃貸住宅」で、3位の「子育て世帯向け」は、ファミリー世帯の過半数が支持しています。

なお、現在の住まいへの住み替えで、全体の77.3%が「満足のいく住まい探し」ができた、学生の81.9%が「スムーズに住まい探し」が進められた」と回答しています。



A small red flag icon with a black outline, positioned at the end of a green line.

情報パック



「首都圏における賃貸契約者の動向調査」(リクルート)

# 引っ越し際、絶対に欲しい設備は 「エアコン付き」がトップ

(株)リクルートはこのほど、同社の住まい領域の調査研究機関、SUUMOリサーチセンターが、2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)に賃貸住宅へ入居した人の動向を調査した『首都圏における賃貸契約者の動向調査』の結果を発表しました。

要点をまとめてみました。それによると、減少トレンドにあった、部屋探しの際に見学した物件数は底を打ち、2017年度調査と同水準の平均2.9件となり、物件見学をしなかった人の割合は、今年度は微減し2013年度並みの水準に戻っています。

・駅やエリア」「最寄り駅からの時間」「通勤・通学時間」「初期費用」「間取り」「面積(広さ)」が上位に並び、やむを得ずあきらめた項目では家賃を除いた条件として、「築年数」「面積(広さ)」「最寄り駅からの時間」「初期費用」「設備・仕様」「路線・駅やエリア」となっています。

魅力を感じる賃貸住宅の  
コンセプト1位は「防災賃貸住宅」

また、設備に対する満足度では、「宅配ボックス」「非接触キー」「遮音性能の高い窓」の順位が前回から5ランク以上アップし、「24時間出せるゴミ置き場」が6年連続1位。

次に、引っ越し際、絶対に欲しい設備については「エアコン付き」がトップで、「独立洗面台」「TVモニ

